

第一号様式（第二条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

認定申請書
 (新築) / 増築・改築

該当する申請に○を付けてください

平成28年 4月 1日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地

新潟市中央区学校町通1番町602-1

申請者の氏名又は名称

新潟 太郎

印

代表者の氏名

第1項

該当する申請に○を付けてください

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条 第2項 の規定に基づき、長期優良住宅建築等
 第3項

計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

- この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
- 法第5条第2項の規定に基づく申請にあつては、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
- 申請者（法第5条第2項に基づく申請にあつては、分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 法第5条第1項及び第3項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第一面、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。
- 法第5条第2項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第一面及び第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。

(第二面)

長期優良住宅建築等計画

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	新潟市中央区学校町通1番町602番1			
【2. 敷地面積】	200.00 m ²			
【3. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築・改築			
【4. 建築面積】	100.00 m ²			
【5. 床面積の合計】	150.00 m ²			
【6. 建て方】	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等			
【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】	1階	100.00 m ²	2階	50.00 m ²
【共同住宅等の場合：住戸の数】	建築物全体		戸	
	認定申請対象住戸		戸	
【7. 建築物の高さ等】				
【最高の高さ】	9.000 m			
【最高の軒の高さ】	8.000 m			
【階数】	(地上)	2階	(地下)	階
【8. 構造】	木造 一部 造			
【9. 長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による			
【10. 確認の特例】	法第6条第2項の規定による申出の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有			

(注意)

- 【6. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- 【10. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。
- この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

共同住宅・長屋の場合のみ

(第三面)

[申請に係る住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	1
【2. 住戸の存する階】	2 階
【3. 専用部分の床面積】	55.00 m ²
【4. 当該住戸への経路】	
【共用階段】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
【共用廊下】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
【エレベーター】	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

(注意)

1. この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。
2. 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
3. 【4. 当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
4. この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第1項又は第2項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法及び期間

定期点検実施予定者の名前・住所・連絡先および
維持保全の方法・期間を記入してください

定期点検実施予定者：〇〇建築

住所：新潟市中央区〇〇町1丁目 連絡先：025-000-0000

維持保全方法：別紙維持保全計画書を参照 維持保全期間：30年

3. 住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

① 建築に係る資金計画

建築に要する費用 0,000万円

② 維持保全に係る資金計画

積立金 00,000円/年

4. 法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者

① 維持保全を建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条若しくは第65条に規定する団体又は同法第47条第1項に規定する法人が行う場合、当該団体又は法人の名称

なし

法第5条2項以外の申請の場合「なし」と記入してください

② 譲受人が建築後の住宅の維持保全を他の者と共同して行う場合、当該他の者の氏名又は名称

なし

法第5条2項以外の申請の場合「なし」と記入してください

5. 住宅の建築の実施時期

申請に先立って工事着手することはできません

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕 平成28年 5月 1日

〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕 平成28年 10月 15日

(注意)

- 3①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。
- 3②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。
- 共同住宅等に係る申請である場合でも、3①及び②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。
- この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第3項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法の概要

定期点検実施予定者の名前・住所・連絡先および
維持保全の方法・期間(30年以上)を記入してください

定期点検実施予定者：〇〇建築

住所：新潟市中央区〇〇町1丁目

連絡先：025-000-0000

維持保全方法：別紙維持保全計画書を参照

維持保全期間：30年

3. 住宅の建築に係る資金計画

建築に要する費用 0,000万円

4. 住宅の建築の実施時期

申請に先立って工事着手することはできません

[建築に関する工事の着手の予定年月日] 平成28年 5月 1日

[建築に関する工事の完了の予定年月日] 平成28年 10月 15日

5. 譲受人の決定の予定時期 平成29年 2月

(注意)

- 3欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。また、共同住宅等に係る申請である場合でも、一棟に係る費用を記載してください。
- この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。